

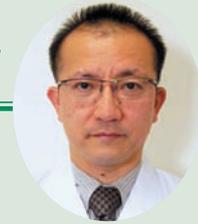
# ろうさい病院 つうしん

発行所: 中部ろうさい病院

〒455-8530 名古屋市港区港明1-10-6  
<http://www.chubuh.rofuku.go.jp/>

TEL: 052-652-5511  
FAX: 052-653-3533

## がん診療拠点病院 — キャンサーボードについて —



外科部長 坂口 憲史

今回は、がん診療の活動について御紹介させていただきます。現代は、3人に1人が“がん”になるともいわれ、“がん”が死因の第一位となっています。そのため、国は、平成18年6月にがん対策基本法を成立させ、がん予防と早期発見の推進、がん医療の均てん化の推進、研究の推進により、国民が住む場所にとらわれず、平等で適切ながん治療を受けられるようにすることを求めました。

当院は、これまで疾病の予知・予防から診療・治療そしてリハビリテーション、在宅療養まで一貫した医療とその支援を目指していました。がん診療においても、予防から早期発見・早期治療を含む診療・治療そしてリハビリテーション、在宅療養まで一貫した医療とその支援を目指しています。

予防・早期発見に関しては、予防医療センターが担い、人間ドックや健康診断などを行っています。診療・治療は各専門の診療科が行なっています。各診療科は、高度な医療を行なうため、専門性に特化し高度化しています。しかし、症例によっては、集学的治療が必要とさ

れます。また、患者の価値観、人生観、背景は多様化してきています。1診療科の医師だけでなく、手術、放射線療法および化学療法に携わる専門的な知識および技能を有する医師、看護師、薬剤師、放射線科技師、栄養士、MSWらが協力して治療を行う必要があります。

当院では、以前より臓器別のキャンサーボード（カンファレンス）が行われていましたが、それに加えて、昨年より臓器を問わないキャンサーボードを行なっています。医師、看護師、薬剤師、放射線科技師、栄養士、MSWらが職種を越えて集まり、がん患者の症状、状態および治療方針等を意見交換・共有・検討・確認等するためにカンファレンスを行っています。スタッフ間の意識が共有され、より高度で個別的な医療が提供できるようになりました。

がん患者の治療では、その治療開始より緩和ケアを並行して行うことで、治療効果が上がり生存率の向上が認められるとの報告がみられるようになりました。当院でも平成21年4月から、医師・認定看護師・薬剤師・他コメディカル等で緩和ケアチームを立ち上げ、カンファレ

ンス、ラウンドを行ない、積極的に緩和医療の導入を行なっています。症状緩和、精神的なサポート、在宅支援等を行い、患者の希望に沿った医療が行なえるように、日々努力をしています。

当院は平成23年4月に愛知県のがん診療拠

点病院に指定されました。今後も、近隣の医療施設と連携させて頂き、地域医療に貢献したいと考えています。患者・家族が満足して頂ける様に努めていく所存です。諸先生方のご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



第1回がんボード風景（6月16日実施）



第2回がんボード風景（8月8日実施）

## 心療内科と勤労者メンタルヘルスセンター

心療内科部長・勤労者メンタルヘルスセンター長 芦原 睦



当院で心療内科外来を始めて20年が経過しました。現在、院外標榜もしており、定床4床ではありますが、入院もできる珍しい施設です。病棟は、整形外科、眼科との混合病床で、診療は4名の心療内科医（内科医）があたっています。内科医ですので聴診器も使いますし、臨床検査なども行います。リウマチ性疾患の心身医療を専門としているので、関節リウマチ、SLE、線維筋痛症などの膠原病や、過敏性腸症候群や過換気症候群などの心身症全般、パニック障害、職場の適応障害などの患者さんも入院されます。

一方、院内には精神科も存在し、精神疾患を診療されていますが、こちらには病床はありません。明らかな精神疾患を入院目的で送ってこられましても、対応の仕様がないうのが実情です。

このことは、多くの精神科医が「心療内科」を標榜していることに大きく影響しています。現在、本邦では自由標榜であるので、何科を掲げられてもいいのですが、「心療内科・精神科・神経科」や「精神保健指定医」などと精神科であることを明記していただきたいと考えています。患者さんに内科的所見をとろうとする

とき、「心療内科」なのに診察するのですか？  
と言われて戸惑うことがあるからです。

勤労者メンタルヘルスセンターの業務は、予防医療センターと心療内科のタイアップで行われています。

- 1) 人間ドック時のストレスチェック
- 2) 勤労者心の電話相談 052-659-6559  
平日14時から20時まで
- 3) 対面式カウンセリング、復職支援、リラクゼーション法アドバイスなど

最近、特にそのニーズが増えています。復職困難事例などをご紹介いただければと思います。

心療内科も勤労者メンタルヘルスセンターもご利用にあたり予約していただく必要があります。

予約電話 052-652-5749  
平日15時から17時

病診連携、事業所との連携（病産連携）に今後とも尽力してまいりますので、よろしくご支援のほどお願い申し上げます。

## 頭頸部癌について

耳鼻咽喉科部長 安藤 篤



先生がたには日頃からお世話になっております。ご挨拶が遅くなりましたが、昨年10月より当院へ着任しました安藤と申します。今後ともご指導のほどお願いいたします。

さて、本日は私が前任地名古屋大学で専門としておりました、頭頸部癌についてお話ししたいと思います。頭頸部癌と言ってもあまり聞き慣れない先生もお見えかと思います。頭頸部癌とは頭から首にかけてできる悪性腫瘍の総称です。（ただし、眼球、脳、脊髄、脊椎、皮膚を除きます。）全悪性腫瘍の5%程度を占めますが、咽頭、喉頭、鼻腔、舌といった臓器に分けると非常に少なくなります。しかし、高齢化とともに他癌と同様増加傾向にあります。

頭頸部領域は発声、嚥下といった人間が生活を行う上に重要な機能と関係があります。また、顔面や頸部は露出しておりますので、治療による整容的な変化も大きな問題となります。解剖学的にも様々な神経や重要な血管が走行しており、機能を温存しつつ腫瘍を確実に切除するのは難しい領域と言えます。機能温存の面からも拡大切除した場合には、組織移植による再建術が必要となります。それにより広範な切除が可能となり治療成績が向上しています。治療は耳鼻咽喉科単独では完結せず、再建外科の存在がなくてはなりません。当院では形成外科医師により、広範囲切除後の再建も行っており十分な切除が可能となっています。最近では拡大切除だけでなく、以前では喉頭摘出が必要な症例

にも、部分切除を行うといった機能温存手術も行っております。頭頸部癌の大部分は扁平上皮癌であり、化学療法、放射線療法に効果が期待できます。そのため、当院でも機能温存の点や患者様の希望も考慮し積極的に行っています。また、当院で対応不可能な症例には名古屋大学と連携し、治療をお願いしています。

近年の癌治療に対する患者のニーズの高まりにより、耳鼻咽喉科領域でも癌治療に対する専門医制度を立ち上げました。この資格認定は手術治療に重点を置いています。暫定指導医の資格から始まり、認定には5年で100例の手術および100側の頸部廓清術の執刀が求められました。昨年からは専門医試験も始まり、現在のところ全国に約300名の暫定指導医と約150名の専門医が誕生しました。（両者は、かなり重複しています。）現在、愛知県には6名の専門医、7名の暫定指導医（5名は専門医資格もあり）があります。私も大学病院に勤務していた都合で暫定指導医を取得しております。今まで治療して来た患者に対する恩返しの意味も含めて、この地域の頭頸部癌治療の一翼を担えればと思っています。幸い、当院では、頭頸部癌に対する手術、放射線、化学療法いずれにも対応可能ですので、患者様のニーズにあった治療が選択可能です。ただ、癌治療は当院のみでは完結しません。地域で患者を支えていく方向に今後いっそうなってくると思われます。これからもご協力を是非よろしくお願いいたします。

# 人工内耳について

耳鼻咽喉科副部長 佐藤 栄祐



平成23年4月1日より、中部ろうさい病院耳鼻咽喉科に赴任となりました。公立陶生病院で研修後、名古屋大学大学院医学系研究科に進学。大学院修了後、名古屋大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科助手、オハイオ州クリーブランドクリニックポスドクフェロー、あいち小児保健医療総合センター耳鼻咽喉科を経て中部ろうさい病院耳鼻咽喉科に参りました。専門は、聴覚・耳科手術です。聞こえでお困りの方に対する補聴器の相談や、真珠腫性中耳炎や伝音難聴に対する鼓室形成術、両側高度難聴に対する人工内耳手術を行ってまいりました。特に力を入れてまいりました人工内耳についてご紹介させていただきます。

そもそも内耳は、蝸牛と前庭・半規管で構成されており、鼓膜から耳小骨を経由して内耳に伝わった音情報は蝸牛で電気信号に変えられたのち、聴神経を介して脳へと伝わっていきます。両側の蝸牛が先天性または後天性に障害を受け、補聴器を装用しても日常会話が聞き取れない場合は人工内耳の適応となります。ただ画像上人工内耳が埋め込めるスペースがない場合

や、活動性の中耳炎、中枢性聴覚障害、重度の精神障害がある場合は禁忌となります。効果に個人差・限界があり、術後のリハビリテーションが必要であるため本人の意欲と家族の支援も重要です。手術時間は、約3時間で耳後部4cmくらいの切開で行います。手術翌日には歩行可能で術後1週間で退院が可能です。術後2週間目に音入れといって初めて人工内耳を使って周囲の音を聴いてもらいます。その後リハビリテーションを定期的に行います。効果としては、個人差はありますが静かなところでの文章の聞き取り検査で、80%くらい理解できると言われます。

中部ろうさい病院でも人工内耳治療を進めてまいりたいと思っております。もし聞こえでお困りの方がおられましたら、補聴器の相談から中耳手術・人工内耳まで御対応したいと考えておりますのでお気軽にご相談ください。

# 連携室だより

## 第2回名古屋南部緩和ケア 講演会のご案内

第2回名古屋南部緩和ケア講演会を  
下記のとおり開催いたします。

記

テーマ：

「一消化器外科医が考える緩和医療  
～治らない胃がん患者さんとの対話から～」

千葉県がんセンター 消化器外科主任医長  
鍋谷 圭宏 先生

日 時： 平成23年9月22日（木）  
午後6時30分から午後8時

場 所： 中部ろうさい病院  
2階 大講堂

お申込み： 地域医療連携室  
052-652-5950  
052-652-5716 (FAX)

## PACSを導入いたしました

平成23年5月よりCTやX線写真を、従来のフィルム  
ではなく、モニター画面に表示して診察を行うPACS  
を導入いたしました。

PACSとは、検査画像をデジタルデータ形式で取得  
し、情報整合性を確保しつつ、保存検査画像の撮影依  
頼から読影、診断までの一連の流れをシステム化、総  
合的に処理及び管理する医療用画像情報システムです。

PACSの導入に伴い、これまで開業医の先生方から  
ご紹介いただく際にX線フィルムなどを持参して頂い  
ていたものが、CD-R等の電子媒体への対応が可能とな  
りました。

また、当院からの紹介、転院の際にフィルムでお渡  
ししていた医療用画像情報を、CD-R等の持ち運びのし  
やすい電子媒体にて、お持ちいただく事が可能となり  
ました。

今後は、CD-R等の電子媒体での医療用画像の交付を  
原則といたしますが、引き続きフィルムでのご紹介も  
承っております。

お気軽に、地域医療連携室へお問い合わせください。

## 医師交代

☆採 用（平成23年9月1日付）

長 島 勇 子 リハビリテーション科医師

☆辞 職（平成23年8月31日付）

吉 川 真 理 リハビリテーション科医師

## 当院の理念

皆さんとの出会いを大切にし、苦しみを  
分かち合い、健康で潤いある生活を送れる  
よう職員一同努めます。

## 当院の基本方針

- ・医療の質の向上と安全管理の徹底
- ・生命の尊厳の尊重と患者さん中心の医療
- ・人間性豊かな医療人の育成と倫理的医療の遂行
- ・地域社会との密な連携と信頼される病院の構築
- ・災害・救急医療への積極的な貢献と勤労者に相応しい高度医療の提供

☎地域医療連携室（平日 8:15～19:30）  
052-652-5950 (TEL)  
052-652-5716 (FAX)

室 長：小林 建仁（副院長）  
佐野 隆久（副院長）  
事務担当：今関 信夫・金井 久実